

氷蓄熱式工場空調システム

この工場では、配電盤や保護監視制御盤、現金自動取引装置などの開発・製造をしています。

工場では生産コスト低減のため、電力使用量を厳格に把握しています。

そのデータから、夏季の電力使用量は冷房機器の稼働により春秋の1.5倍にも達していることがわかり、電気料金の低減についての検討を行いました。

そこで、工場拡張に伴う新築に際して、空調に氷蓄熱式空調システムを導入しました。

その結果、夏の期間、空調システムで消費する昼の電力の約30%を夜間へ移行することにより契約電力と電気料金の低減を図ることができました。

【改善効果】

産業用蓄熱調整契約の適用および契約電力の抑制により電気料金が低減した。

(約130万円/年)

【設備概要】

産業用蓄熱調整契約適用負荷:171kW

室外ユニット

氷蓄熱ビル用マルチエアコン:

13馬力相当(10.6kW)×9台

氷蓄熱パッケージエアコン:

10馬力相当(7.61kW)×10台

蓄熱ユニット 氷蓄熱槽:1.02m³×19台

運転パターン

